

島民の皆様へ

退院調整にご協力をお願い

島民の皆様には、平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り、深くお礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの流行と拡大によって、多くの方が不安やストレスを抱えて生活されておられることと存じます。目に見えない敵との戦いは、現状では隔離が最優先の予防法であり、ワクチンや治療薬の開発などが進まなければ終息にはいたりません。

まだまだ時間がかかることを受け入れて、新しい生活様式（マスク、手洗い、うがい、3密を避ける）を取り入れながら経済活動の復興を目指していかなければなりません。島根県では、大規模クラスターの発生はあったものの、最近では日々の感染者発生は全く無いか低い状況にあります。いつ、どこで発生してもおかしくありません。感染したことが悪いわけではなく、感染を拡大させない意識と取り組みが重要です。

隠岐の島町においては、離島であるがゆえに人々の行き来は限られた交通手段のためある程度の規制がかかりますが、一旦、感染者が発生してしまうと拡大しやすい環境にあるといえます。感染拡大防止のためには発熱・咳・倦怠感、味覚異常等の症状がある場合には早めのご相談をお願いします。

当院は、新型コロナウイルス感染症対策として、病院正面玄関での体温測定、健康チェックや面会制限など実施しています。そして、新型コロナウイルス感染患者さま及び疑い患者さまに対応するために島根県と協議し、専用の病床を確保し入院できる体制を準備しています。そのため一般患者さまの入院可能な病床数を減らしていますが、様々な症状の入院患者さまに対応するためには、限られた病床数ですので退院調整を行っています。

入院患者さまの状態を診て調整しておりますので、島民の皆様が安心して医療を受ける事が出来るよう退院調整につきご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年9月

隠岐広域連合立隠岐病院

院長 長谷川明広